



集え、
世界を変える学生たち

第 63 回 国際 学生 会議

JAPAN X GLOBAL ISSUES

開催日程：2017年8月16日～8月28日

開催地：東京・京阪・神戸・名古屋・福岡・岡山

総合テーマ
「Endeavours in Diversity」

主催：日本国際学生協会

後援（予定）：外務省 文部科学省 UNDP 駐日代表事務所

賛助（予定）：公益財団法人三菱 UFJ 国際財団・公益財団法人双日国際
交流財団・公益財団法人平和中島財団

 ISC
International Student Conference

多様性社会の新しい一步を踏み出す。国際学生会議で。

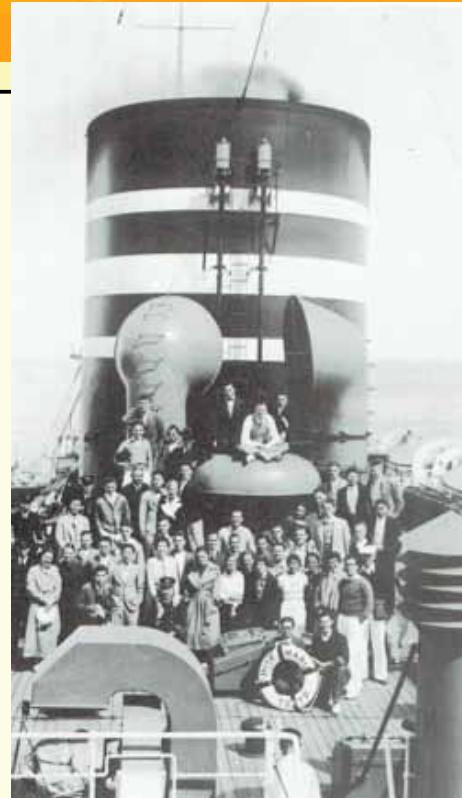
世界はますますグローバル化への道を進んでいます。社会の多様性を確保すること、そしてその社会で生きていく術をつけることすることが今後私たちにとって必要なのではないでしょうか。

一方で日本では多様化やその順応がなかなか進んでいません。意識していないと生活の中で外国人と交流する機会はなく、英語を話す機会は大学の授業や英語サークルなどでしかない、という人が大半ではないでしょうか。また、世界の出来事について真剣に考え、意見を交わす、そして将来のことについて語り合う、そんな経験はめったにないのでしょうか。

国際学生会議はそのような問題意識のもと世界各国の学生が日本に集結し、事前研修旅行と本会議の約2週間にわたる共同生活を通して深い国際交流体験を提供します。事前研究期間には夏の2週間を充実させるためのプログラムを用意しています。今年の夏、世界のこと、そして自分の将来のことについて、国際学生会議の最高の仲間たちと真剣に考えてみませんか？

国際学生会議（ISC）とは

国際学生会議は日本で最も古い学生会議の一つです。1934年、満州事変で悪化する日米関係を懸念した学生4名が発起してアメリカに渡って日本に関心のある学生を募り、日本で第1回日米学生会議を開催しました。戦時中に会議は消滅しましたが、戦後にアジア各国の対日感情の回復、そして世界で活躍する人材を育成を目的として、1954年第1回国際学生会議が開催されました。以来半世紀以上にわたって受け継がれてきた国際学生会議ですが、毎年多くの外国人学生と日本人学生の交流と理解を促しており、参加した学生は会議での経験を己の芯として世界に羽ばたいています。



1934年 船上の記念写真



ディスカッション

参加者は6つのトピックに分かれて議論を行います。事前研究機関、本会議中とこのトピックに取り組み、最終的にファイナルフォーラムで成果を発表します。

【ディスカッショントピック】

- ①女性の貧困 ②機械と人間の在り方 ③軍縮と平和構築
- ④気候変動 ⑤資本主義の再考 ⑥トランプ大統領時代の国際関係



事前研修旅行（事前ST・スタディーツアー）

本会議の直前に主催団体日本国際学生協会の支部が行う旅行企画です。海外参加者は京阪・神戸・名古屋・福岡・岡山の各都市を選択し、日本を体験します。本会議国内参加者の参加は任意ですが、海外参加者といち早く打ち解けたい方にはお勧めです。

スタディーツアー（メインST）

本会議中に丸1日東京や神奈川近辺に赴き日本を海外参加者に紹介します。海外参加者とより深く交流することを目指します。



SDGsへの取り組み

SDGs「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」は、人類が直面するあらゆる問題を2030年までに解決すべく、全世界を挙げて取り組んでいる、今一番ホットな国際課題であり、各ディスカッションピックにも深く関連します。ISCでは、SDGsの統括をする国連開発計画(UNDP)のご協力のもとSDGsの学習を組み合わせることでディスカッションをより深く掘り下げます。5月27日では、国連と学生団体が主催するSDGsのイベントが開催されますが、ISCも主催団体の一つとして参加します。

ファイナルフォーラム

ディスカッションなど国際学生会議での成果を発表します。多くの学生や企業の方が観覧しに来ます。大勢の前で英語でのプレゼンテーションをする体験を得られます。

また、UNDP駐日代表の近藤哲夫様にお越しいただき、ご講演と、学生の発表に対するフィードバックをしていただきます。

事前研究期間

参加者決定から本会議までの期間、本会議に向けた準備期間があります。ここではディスカッション、プレゼンテーションの技術や英語力、論理的思考力の醸成を図ります。さらに、テーブルごとの集まりや、海外参加者とペアを組んで研究活動を行います。

事前の活動を通して本会議の期間中をより有意義なものにします。

フィールドトリップ・文化体験

東京の名所訪問や体験を通して、文化や伝統、政策、おもてなしの心等について学びます。

タイムテーブル

8月20日（日）	開会式 基調講演 ウェルカムパーティー
8月21日（月）	分科会①② レクリエーション
8月22日（火）	分科会③④ フィールドトリップ
8月23日（水）	スタディーツアー
8月24日（木）	分科会⑤⑥⑦
8月25日（金）	分科会⑧⑨ 日本文化体験
8月26日（土）	分科会⑩⑪⑫ 発表準備
8月27日（日）	ファイナル・フォーラム フェアウェルパーティー
8月28日（月）	閉会式

過去海外参加者出身国

日本・韓国・中国・台湾・ベトナム・フィリピン・タイ・シンガポール・インドネシア・インド・アメリカ・カナダ・コロンビア・イスラエル・オーストラリア・インド・カザフスタン・イギリス・フランス・ブルガリア・ロシア等

世界中からさまざまなバックグラウンドを持った仲間たちと出会えることが、国際学生会議の最大の魅力です！

第63回国際学生会議 開催概要・募集要項

開催期間	招集会 6月3日～6月4日 事前研修旅行 8月16日～8月19日 本会議 8月20日～8月28日
開催地	事前研修旅行 京阪・神戸・福岡・名古屋・岡山 本会議 国立青少年記念オリンピックセンター（東京・代々木）
募集人数	国内参加者 20名 海外参加者 32名（20カ国以上）
応募資格	2017年4月時点で日本国内の大学、大学院、短期大学、専門学校に在学する学生（留学生含む） 公式プログラムのうち、招集会・本会議の全日程に参加できる者
公用語	英語
応募方法	2017年3月20日からホームページ上で公開される申し込みフォーマットに記入。参加申し込み書に必要事項を記入し、在学証明書（英語）とともにメールにて応募。4月25日23時59分締切。なお、新一年生は5月5日23時59分を締切とする。Skype等での面接を経たのち、5月15日に参加者決定の通知を行う。
参加費	6万円（期間中の宿泊費、食費、イベント参加費を含む。遠隔地居住の者については交通費補助有り。）

なお、上記事項は予告なく変更があるので、最新情報は公式ホームページで確認すること。



お問い合わせ

E-mail japan.isc63@gmail.com

公式 Web www.japan-isc.com/jp

Facebook <https://www.facebook.com/isc.isa/>

Twitter @JapanISC63

LINE @gcd2983u



公式 Web

